

第27期 決算公告

2019年1月21日

東京都品川区西五反田一丁目18番9号
タイムズサービス株式会社
代表取締役社長 山沢 一善

貸 借 対 照 表

(2018年10月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産		流動負債	
現金及び預金	814,262	買掛金	3,340
売掛金	2,424,126	未払金	1,106,545
商品	10,114	未払法人税等	139,721
貯蔵品	633,492	未払費用	570,074
前払費用	78,247	預り金	27,914
関係会社短期貸付金	900,000	賞与引当金	500,000
立替金	3,277	リース債務	4,821
未収入金	37,503	役員賞与引当金	8,000
繰延税金資産	203,972	その他	3,588
その他	998	流動負債合計	2,364,003
貸倒引当金	△ 10,458	固定負債	
流動資産合計	5,095,536	リース債務	13,480
固定資産		長期未払金	1,500
有形固定資産		繰延税金負債	5,673
建物	7,059	固定負債合計	20,653
構築物	271	負債合計	2,384,660
工具器具備品	45,851	純 資 産 の 部	
リース資産	16,598	科 目	金 額
有形固定資産合計	69,781	株主資本	
無形固定資産		資本金	300,000
電話加入権	4,952	利益剰余金	
無形固定資産合計	4,952	利益準備金	18,500
投資その他の資産		その他利益剰余金	
長期前払費用	4,897	繰越利益剰余金	2,558,036
敷金・保証金	47,003	利益剰余金合計	2,576,536
前払年金費用	39,025	株主資本合計	2,876,536
投資等合計	90,925		
固定資産合計	165,660	純資産合計	2,876,536
資産合計	5,261,196	負債及び純資産合計	5,261,196

個別注記表

(重要な会計方針)

(1) 有価証券の評価基準及び方法

その他有価証券

時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法
(期末の評価差額は全部純資産直入法により処理し、
売却原価は移動平均法により算定)

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・・・・・・・・個別法による原価法（貸借対照表価額については、
収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

貯蔵品・・・・・・・・・・最終仕入原価法（貸借対照表価額については、
収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

リース資産以外・・・定率法
の有形固定資産 但し、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）
並びに2016年4月1日以降取得の建物附属設備及び構築物については、定額
法を採用しております。

リース資産

所有権移転外・・・リース期間を耐用年数とし、主に残存価額をゼロと
ファイナンス して算定する定額法
・リース取引
に係るリース
資産

無形固定資産・・・・・・・・定額法

但し、自社利用のソフトウェアについては、社内
における利用可能期間（5年）に基づく定額法

長期前払費用・・・・・・・・主に定額法

(4)引当金の計上基準

貸倒引当金・・・・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金・・・・・・従業員の賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員賞与引当金・・・・役員の賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金・・・・従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。なお、年金資産見込額が退職給付債務見込額を超過しているため、その超過額を投資その他の資産（前払年金費用）に計上しております。退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。なお、数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生した翌期から費用処理することとしております。また、過去勤務費用は、発生時に一括して費用処理しております。

(5)消費税等の会計処理・・・・税抜方式によっております。

(当期純損益金額)

371,968 千円